

新潟駅南口発着空港バスの運行サービスの概要について

平成 20 年 12 月 16 日

新潟県
新潟市

新潟県及び新潟市では、北東アジア交流の玄関口として、また、国内における交流・交易の結節点として新潟の拠点性を高めていくために、新潟空港のアクセス改善が極めて重要と考えています。

このため、平成 18 年度の有識者による新潟空港アクセス改善検討委員会の提言を踏まえ、空港アクセスの改善は、早期に実現可能なものから段階的に取り組むことにより、空港利用者の着実な増加を促し、最終的に定時性に優れた軌道系のアクセス整備につなげていくこととしています。

新潟駅南口発着の空港バスは、早期に実現可能な改善策として、昨年度実施した空港バス運行頻度アップ社会実験等を踏まえ、検討を進めてきたもので、この度、新しい新潟の玄関口として整備が進む新潟駅南口と新潟空港間を結ぶ空港バスを運行する補助事業者が決定し、その運行サービスの概要がまとまりました。

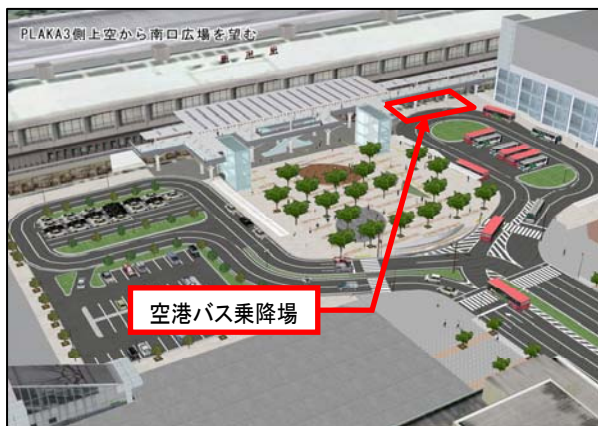
(空港バスの南口発着環境について)

新潟駅南口広場は、新潟の新しい玄関口として、来年秋の新潟国体開催に向けて整備が急ピッチで進められています。(南口空港バス開設に合わせ一部供用予定)

新しい南口広場は、駅新幹線コンコースに隣接し、バスターミナルやペDESTリアンデッキ(屋根付高架歩道)の整備による良好なバスの待合・乗降環境が実現することから、新潟のイメージアップが図られます。

また、新幹線等鉄道からの乗継利便性が格段に改善されることから、空港利用圏域、空港利用者数の拡大が期待されます。

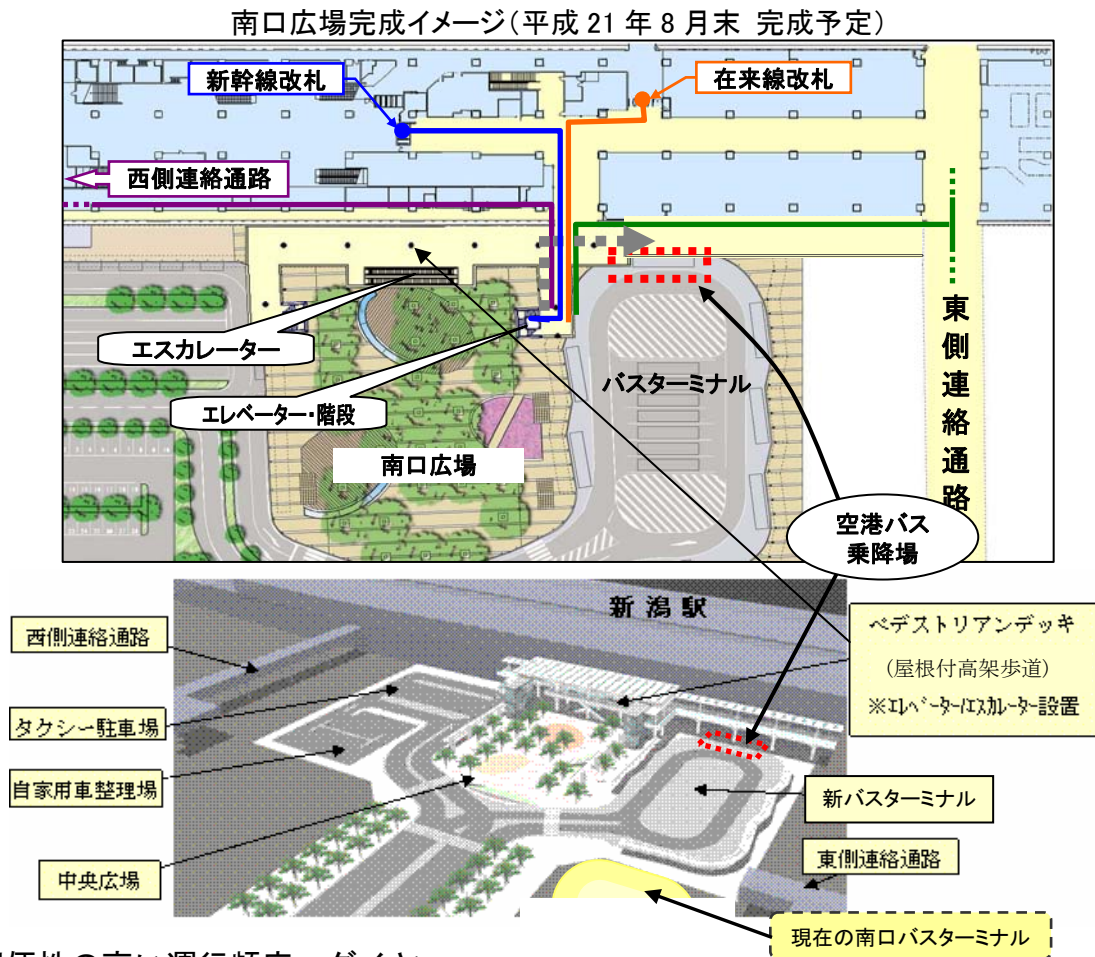
南口広場完成イメージ(平成 21 年 8 月末 完成予定)



運行サービスの概要

○新潟駅での良好な待ち合い・乗降環境

- ・ ペDESTリアンデッキ(屋根付高架歩道)により、雨天時にも濡れない良好な待ち合い・乗降環境が確保されます。
- ・ 新幹線等、鉄道との乗継では、エスカレーター、エレベーターでのスムーズな上下移動が可能となります。



○利便性の高い運行頻度・ダイヤ

航空機の離発着が集中する時間帯を 20 分間隔の高頻度運行とすることで、新幹線、在来線、バスなど他の交通手段との乗継利便性が向上します。
(従来：概ね 30 分間隔)。

○利便性、快適性の高い空港専用車両

空港バスに相応しい快適な専用車両が導入されます。

- 〔運行車両〕 全車空港専用バス車両、バゲッジルーム付(従来:通常の高速バス,路線バス車両との併用)
- 〔座席〕 ゆとりのあるシート配置(他空港と同等)、座席数:45席(運転席及び補助席除く)
- 〔車内案内〕 5カ国語[日,英,韓,中,露]での音声及びテレビモニターによる車内案内
- 〔外観〕 空港線専用の外観デザイン

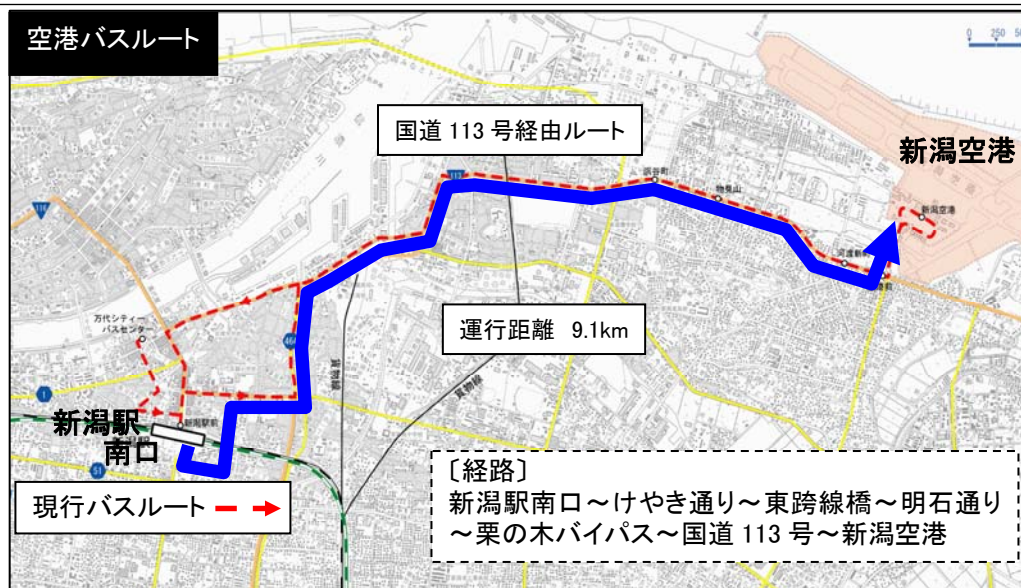
○運賃支払いの円滑化

新潟空港と新潟駅南口にバスチケットの自動販売機が設置されることにより、運賃支払いがスムーズになります。(ICカード支払いも今後の導入を検討します)

○速達性、定時性を確保した運行ルート

〔運行距離〕 L = 9.1km

〔所要時間〕 現行のバスと同等の 25～30 分程度を想定しています。



○ その他提供サービス

新潟空港の航空便発着情報のリアルタイムでの提供サービスを実施中
(パソコンや携帯電話からアクセス可能)

〔提供場所〕 新潟空港ビルディングホームページ

<http://www.n-airport.co.jp/flight/index.php>

新潟空港ビルディングモバイルホームページ

http://www.n-airport.co.jp/flight/index_k.html

運行開始時期

平成 21 年 4 月 (予定)